

新型コロナウイルス感染症の後遺症及びワクチン接種の副反応による影響の調査を求める決議について

新型コロナウイルス感染症の後遺症及びワクチン接種の副反応による影響の調査を求めることについて、別紙のとおり決議を行うものとする。

令和 6 年 3 月 2 6 日提出

提出者	秦野市議会議員	川 口 薫
賛成者	同	田 中 めぐみ
同	同	吉 村 慶 一
同	同	桑 原 昌 之
同	同	原 聡
同	同	相 原 學
同	同	中 村 知 也
同	同	大 塚 毅
同	同	古 木 勝 久
同	同	今 井 実
同	同	小 菅 基 司
同	同	風 間 正 子
同	同	高 橋 文 雄

提案理由

市民に寄り添い、一人一人の日常を守るために、これまでの新型コロナワクチンの副反応、後遺症に係る調査及びワクチン接種事業の総括を市に対し強く求めることを決議するものであります。

## 新型コロナウイルス感染症の後遺症及びワクチン接種の副反応による影響の調査を求める決議

令和2年1月、国内で初の新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されてから4年が経過した。各種メディアの調査報道等では、ワクチン接種に伴う副反応によって重篤な症状を呈する方、また、感染症の罹患者の中で、疲労感・倦怠感などの罹患後症状、いわゆる後遺症を訴える方が一定程度の割合で発生している状況などを公表している。

実際に、倦怠感、呼吸困難感、集中力の低下、記憶力の低下、睡眠障害などの症状が続き、仕事や学業の継続が困難となっている事例や、症状が外見から判断しづらいため、怠惰と捉えられてしまうなど、副反応や後遺症は、社会生活において、非常に悪影響を及ぼしている。

そして、副反応及び後遺症の発症の仕組みは、いまだに解明されておらず、どのような症状がどのような人に起こるのか、どれだけ長く続くのかについても不明であり、効果的な治療法も確立されていない。こうした状況から、多くの方がワクチン接種の副反応に対する不安を抱いており、ワクチン接種率の低下の一因とも考えられる。

よって、本市議会は、市民に寄り添い、一人一人の日常を守るために、これまでの新型コロナワクチンの副反応、後遺症に係る調査及びワクチン接種事業の総括を市に対し強く求めるものである。

以上、決議する。

令和6年3月26日

秦野市議会